

第1～6回 あいりん地域のまちづくり検討会議
ワークショップ意見など

■現状・全体意見

【基本の考え方】

- 地域に役立つ土地利用の話し合いの場を設けてほしい
- 多様な主体の話し合いの場は必要
- センター利用者限定でなく、センター内・外に開けるように
- “あってよかったな”と思えるセンターにしたい
- 子どもが安全にくらせる街に
- あいらんセンターだけでなく売人などについても話さなければならない
- 前提条件に疑問
 - ・地図上にあいらん地域がない。あいらんの提議があいまい ・そもそも「あいらん地域」とは？ ・区全体も意識して
- 情報が少ないので、議論が進められない
 - ・現状の機能についての情報を共有
 - ・活用できるスペース（土地、建物）についての情報
 - ・地域の各団体、住民の意見を聞く機会を増やして
 - ・地域に役立つ土地利用の話し合いの場
 - ・地域の要望を聞かないと議論できない
- どんな人でも受け入れられる町に
 - ・仕事と子育てが一体にできるまちに
 - ・仕事を求めて地域にやってくる。仕事がないと来ない
 - ・新しい人が入ってくるのに必要な機能は何か
 - ・排除ではなく、多様な主体と一緒にやっていくことが重要（野宿生活者や労働者、子ども、町会など）
- 今ある機能をキチンと捉えてから議論を
 - ・3つ（社医C、住宅、労働福祉C）の枠組みだけでなく、現場でつくられてきた機能も把握（時代とともに機能は大きく変化している）
 - ・居場所や現場での支援などの機能も再確認
 - ・新たにつくる必要のある機能は何か検討を
 - ・機能の議論の順序として①住宅→②社医C→③労働福祉Cが良いのでは
- 急ぐテーマ、時間をかけるテーマを分ける
 - ・住宅をとるだけで10年かかる…？現実味がない
 - ・住宅のように急ぐものと労働系のような時間をかけるテーマ
 - ・どれくらいの期間、規模でまちづくりを考えるのか
 - ・若い世代を呼ばないと長い計画が持続しないのでは？
 - ・この様な、みんなが意見の言える場を継続してほしい
 - ・市・府・国と議論・意見できる場が必要
 - ・まちの将来イメージの共有が重要（将来予想＋夢、どんなまち？）

【地域課題との関係】

- 道路の整備・違法駐車・駐輪対策（地域内に駐車場を確保）
- 違法駐車もまちづくりで改善していくべき
- 1.2丁目に子育て世代を入れるのは難しい
- 警察にも関わってもらう

【耐震・防災】

- 耐震性が確保できていない、本当に建替えが必要か？
- 地域内に避難所が必要（防災というテーマが大事）

【公園】

- 三角公園に老人を住まわせてどうする
- それぞれの公園にはそれぞれの機能がある。ただし、一般的な公園としては機能していない部分もある
- 単なる空地ではないので、拙速に他の機能を再配置するのはよくない

【小学校跡地の活用について】

- まちづくりの視点で小学校跡地は考える
- 萩小だけですべて収まるわけがない
- 地域防災の拠点である
- こども教育の拠点、プレーパークなど
- 萩の森は、子どもたちのために残して活用
- 萩の茶屋小学校跡地の活用のあり方が重要
 - ・市にはビジョンがない
 - ・京都のような方針をつくるべき
- 小中一貫校
 - ・児童300名→48名（萩之茶屋地区）1/6になった原因は？
 - ・今宮小中一貫校ができたが、将来も減少する可能性はある
 - ・小中一貫校じゃなく鶴見橋地区も一緒に考える
 - ・一貫校に通学させようと思っている親は約100名（他区からの流入希望者）
 - ・小中一貫校は興味ある。これを機会に魅力をつくる

■これからの機能

【機能構成】

- 機能は分散（バラバラに）してもよい。機能ごとに、規模・立地・手法を考える
- まちの機能が有機的に結びつくように
- 新しい機能的なものに、今の時代にフィット
- 今必要なものと将来必要なものが違う。切り替えられるようにした方がよい
- センターの機能だけでなく、地域一体でイベント等できるような開発を
- センターを多目的にいろいろの人がシェアできるように
- 時間でシェアして使えるようにしてほしい

【新しい機能】

- 防災機能は公共施設等には必要
- 防災機能や文化・芸術はセンターの兼用が可能（時間帯を変えて）
- 複合機能
 - ・コミュニティ・文化施設 ・住宅+医療+文化施設 ・銀行、郵便局など
 - ・住宅+病院+遊び場+防災（避難所）を一体で考える
- その他
 - ・総合センターと小学校の間の道は不要 ・住民登録などができるように

■必要な規模

- 現在の利用ニーズにあった機能、必要な規模
 - ・現機能の利用者減少（5～10年後労働者はもっと減少する） ・利用現況（実態）を考えて機能、規模を考えるべき
 - ・大きなものでなく小さなものから個のまちのポテンシャルを試すことが重要では？
 - ・現状規模は必要ではないか ・規模は縮小したとしても機能は充実させる
 - ・利用状況に合わせた、融通の利く空間利用が必要
 - ・地面の面積は減らしてもいい

■更新方法・立地

【更新方法】

- 耐震後15年（耐用年数）なら効果少ない
- センターを立体的に使えるように

【どこに更新するか？】

- 立地の考え方
 - ・土地の確保が困難
 - ・センターは駅前に必要か？駅前の賑わい・新今宮の顔
 - ・あいらん地域外への移転は難しい
 - ・同規模一体移転先はあいらん地域内にない
- 考えられる場所
 - （駅周辺）
 - ・新今宮駅北の土地はどうか？
 - ・現あいらん総合センター帯を南側に圧縮して北側に駅前としてのスペースをつくるのはどうか
 - （公園）
 - ・三角公園はどうか？ ・公園が使えていない
 - （小学校）
 - ・小学校周辺エリアで移転配置はどうか？ ・今ある広いスペースとしての運動場の空間利用
 - （ゾーン配置）
 - ・南海の西側は教育エリア、東側は労働エリアとして配置してはどうか
- 活用できそうなスペース
 - ・市更相 ・東田保育所 ・萩之茶屋小学校の運動場 ・シェルター計画地（三徳寮東隣） ・公園
 - ・南職安 ・その他、大阪市関連の土地は？
- 残したい場所
 - ・萩小の「萩の森」は残したい（地域唯一の緑）

□シェルターでの聞き取り意見

○センターの利用状況・目的

- ・釜へ来て2年、センター行ったことなかったが、やっと入れるようになった
- ・仕事がない時はセンターの2Fでゆっくりと過ごす（1Fは手配者がいて落ち着けない）
- ・シェルター朝5時に出た後行き場所がない。朝8時まではセンターで過ごしている
- ・シェルターを出て玉出でご飯を買うが道で座ってご飯を食べるわけにいかず、センター3Fで朝食を食べる
- ・朝5時に起きてセンターに行きブラブラする8時になったら三徳談話室、午後はふるさとの家か禁酒の館を利用
- ・朝5時にシェルターを出てセンターへ仕事をさがす
- ・センターは特掃での利用のみで2～3年、建設の仕事には行けていない（ここまで五欄一連）
- ・今のセンターは屋根があるので雨の時でも利用できる
- ・昼は図書館や散歩の利用（図書館を利用したり、散歩をしたりで時間をつぶす）
- ・技能講習には、資格を持っていても、食事+宿日当てで受けに来る人も
- ・西成労働福祉センターで券をもらって、無料低額診療制度を利用している
- ・グループでいることも、一人でいることも
 - ・昼寝。本読む。職を掲示板にはる
- ・今のセンター不便感じている人いない
 - ・センターもっと早く開けよ。5時でも遅い
- ・集合場所として利用している
 - ・シェルターの券をもらう為にセンターに来るだけ
- ・たまにセンターを利用している
 - ・毎日行っている
 - ・組合関係で使っているのをよく見る
- ・センターに来て3年
 - ・夏すずしくて、冬さむい
 - ・荷物を置いて、他の居場所にいく
- ・トイレを利用
 - ・友達と話が出来る
 - ・いつも定位置で、周りに知り合いはいる

○労働者の状況

- ・若い奴に勤労意欲がない
 - ・人の中に入りづらい（酒ん飲んでるか、喧嘩している）

○まちの良いところ

- ・行政もNPOも今ぐらいがちょうどいい
 - ・人情味がある
 - ・街がきれいになってきた

○現状の生活・仕事について

- ・食べ物はタダで済ませられる。それ以外はお金がかかるのでしんどい
- ・センター内の食堂は数が減ってきて、今はお金があるときだけ利用
- ・2010年から特掃をしている。年金もあるから生保はまだ、75歳になってから考える
- ・現在の不法投棄の見回りの仕事は抽選で生活の計画が立てにくい
- ・月・火・木・金がシェルター 土・日がドヤ
 - ・特掃5,700円、3日分のドヤ代の残り2,700円
- ・2006年から特掃、それ以外はアルミ缶拾い
 - ・以前は、10日契約→ドヤの繰り返し
- ・特掃は4、5日に1回ほどまわってくる
 - ・シェルターを3年前から利用
- ・缶集めで生活
 - ・血圧と糖尿持ち
 - ・特掃のみが収入
 - ・特掃は行っていない

○社会医療センターへの要望

- ・入院用ベッドは仕切りぐらいあって欲しい。プライバシー守るため。皆の前で医師にいろいろ聞かれるから
- ・医療券は病院の窓口で出せ。西成労働福祉センター3階へ階段昇って行くのは不便
- ・よその病院に行くとお金が必要だから社会医療センターがないと怖い
- ・現在通院中なので工事中も通院できるようにしてほしい
 - ・ただで診てもらったから贅沢は言えない。親切だった
- ・「医療センター相談で単泊も」という意見に同意
 - ・住民税払っていないので、大きなことは言いづらい
- ・移動しようが今の体制なら良い
 - ・社会医療センターは必要
 - ・助かっているので今のままが良い
- ・設備の規模が小さい不便
 - ・受付のガードマン厳しすぎる
 - ・歯医者さんが欲しい（入れ歯のニーズもある）

○職安・西成労働センターへの要望

- ・一般の職安の仕事。工場内作業などの、建設以外も紹介してほしい
- ・窓口あまりいらさない。（職員）人数減らしていい
 - ・職安、誰が手帳出すかわかっている
- ・白手帳、アプlesh当一日160人くらい
 - ・仕事の種類を広げてほしい。経験者しかできない
- ・仕事はいる紹介してほしい
 - ・仕事の事で相談したけど、職員が不親切だった
- ・未登録業者を取り締まってほしい
 - ・西成労働福祉センターは必要
 - ・相談も紹介も必要

○あいらん総合センターへの要望

- ・24時間オープンしてほしい（24時間あいていたら、シェルターがなくても適当にできる）
- ・センター建て替え中、2Fで寝ている方がどこで休んだらいいの？
- ・生保の受給者がセンターの談話室を使っているのが嫌（気を使ってほしい）
- ・単宿（旧市更相）、短泊・簡宿無料紹介（労働センター）等を一本化せよ
- ・分館（旧市更相）をセンター機能の中に入れよ
 - ・建かえのとき困る。居場所として小学校でもいいから
- ・熱いお湯があれば、カップ麺とかに利用できる
 - ・トイレトペーパーを持って帰る人がいて困る
- ・センターでのイベント活動をもっと、将棋、カラオケ等
 - ・お風呂やお年寄り向けの娯楽センターがあればいいのに
- ・困ることはそんなにない、むしろいいことの方が多い
 - ・娯楽室は冬はすきま風で寒い、夏は涼しいけど
- ・運動できるような設備がほしい
 - ・仲間と話しが出来る場所がほしい
 - ・みんなが水を飲めるようにしてほしい
- ・娯楽室が狭い
 - ・早く建ててほしい
 - ・センター建替えない方がよい
 - ・休憩する場がほしい

○シェルターへの要望

- ・暖房、冷房ぐらいは入れてほしい。ぜいたくは言えないけども
 - ・失くさないでほしい
- ・高齢者には朝5時起きはきつい（6時～7時くらいにしてほしい）
 - ・南シェルター古い。新しく作って
- ・南シェルターの毛布をもっときれいに洗ってほしい（ダニ・シラミ）
 - ・シェルターは寝てみないとわからない
- ・シャワー15分は短い。20分ほしい。ブザー辛い
 - ・まん中のベッドをシングルにしては
- ・もう少し長く居られるといいけど
 - ・シェルターの真ん中の仕切り板を入れる

- 仕事への要望・意見
 - ・仕事の紹介をもっとやってほしい（特掃のような仕事があがたい）
 - ・特掃の値段を上げてほしい（5,700円よりも300円多く）
 - ・雇用の環境をつくる、仕事を作るとはすばらしい
 - ・環境整備の仕事をもっと増やしてほしい
 - ・特掃を週2回にして
 - ・短時間の仕事を多くつくってほしい
 - ・輪番で、自分の状態に合わせて選べるようにしてほしい
 - ・仕事がない増やしてほしい
 - ・朝9時～夕方5時のフルタイムの仕事はきつい
 - ・現金の求人の安定を、継続を
 - ・洗い場や調理の仕事もあるといい
- まちへの要望・意見
 - ・動物園、遊郭、むかしの雰囲気を失われたくない。朝から酒が飲めたり、串カツ食べられたり
 - ・阿倍野区の再開発地区の旭町きれいになった。西成もそうしたいの？
 - ・センター2階将棋のような場まちのあちこちにあつたらいい
 - ・三徳ケアに居られる期間をもっと長くしてほしい
 - ・三徳の談話室をもっとあけてほしい
 - ・小中一貫校大阪市内で初めてなので魅力ある
 - ・この街で子供を増やすのは難しいと思う
 - ・遊びが必要（行政のやり方について無駄遣いが良い時もある）
 - ・子供がたくさん来てほしい（にぎやかになる）
 - ・通学路環境変える。環境悪いのあたりまえ
 - ・布団、毛布が欲しい
- まちの居場所
 - ・三徳寮の図書館、談話室
 - ・禁酒の館
 - ・公園
 - ・ふるさとの家
 - ・お金があれば簡易宿所
- 居場所とは？求めるものは？
 - ・センター以外の居場所をもっとたくさん作る
 - ・ふるさとの家のような（ところが）ほしい
 - ・若者向け＋高齢者向けの居場所
 - ・日中、昼間の居場所
 - ・顔見知りがいる
 - ・壁をつくり過ぎると結核が蔓延するのでは
 - ・三徳生活ケアセンターを連泊できるように
 - ・お金がなくても過ごせる場所
 - ・居心地のよいゆかさ
 - ・横になれるのが重要
 - ・雨の日に行くところがない
 - ・公園で本を読んだり
 - ・雨、風がしのげる
- 居場所＋αとして何が必要
 - ・西成市民館のレクリエーションは3階で外から見えず、参加しにくい
 - ・気軽に参加できるレクリエーションもあればいい
 - ・レクリエーション、センター外にも
 - ・息抜きのためのお金と場所は必要
 - ・病気の相談窓口がほしい
 - ・24時間オープンな相談窓口
 - ・食事できる場所
 - ・銀行
 - ・託児機能
 - ・洗濯できる場所
 - ・息抜き
 - ・洗濯できる場所
 - ・荷物をおける場所
 - ・お金があれば、映画などを楽しむ
 - ・簡単な薬がもらえるところ
 - ・どんな人でも気兼ねなくいてもいい場所
 - ・卓球大会に行きたい
- 相談窓口、相談後について
 - ・釜ヶ崎に来た当時は相談しに行っていたが、現在は行かなくなった
 - ・市立更生相談所で相談したが、まともに取り合ってもらえず、以降は行っていない
 - ・役所も市更相も相談しに行きたいとは思わない
 - ・いま信頼できる相談窓口は思いつかない
 - ・三徳寮に入りたいときも、市更相には相談に行きにくい
 - ・三徳寮に入れても、出たときが何もなければしんどい
 - ・三徳寮に入っている人が決まっている
 - ・行政の都合でいろいろバラバラ。いろいろセットにしてほしい
- 求める仕事について
 - ・仕事量＝予算。総数は変わらない。→特掃量ダウン、軽作業量アップ
 - ・難しい仕事、力仕事は、こなすのは難しくなってきた
 - ・特掃と新規の拡充は別々に。週2を確保
 - ・特掃と軽作業の議論を分けて考える
 - ・土木はできなくなった
 - ・月に2回ほど日雇仕事に行っている
 - ・特掃の仕事を増やしてほしい
 - ・生活の安定
 - ・予算だけは減らさないでほしい
 - ・できることならなんでも
 - ・軽作業、短時間作業ならできる
 - ・もっとできる仕事を増やしてほしい
 - ・やりやすい仕事
- 施策などについて
 - ・西成区については市長の言う通りにさせない方がいい。市長は大阪のためにがんばってほしい
 - ・シェルターいらなくするような行政施策が必要
 - ・いっぱい意見がある。しっかり調整を
 - ・府・市・国の管轄の違いがややこしい

■現状・全体意見 (労働福祉センター / 職安)

【現状】

- 機能の明確化、労働福祉センターと寄り場機能 (理解しにくい)
- 周辺への影響
 - ・路上求人の管理、道路手配との関係
 - ・路上求人をやめさせて建物のなかで求人するようにするのか?
 - ・駅前イメージはどうか?
- 利用状況を考慮
 - ・センター周り 50 ~ 60 台、南霞を含めると 100 台の車
 - ・車、人の動きは朝 5 時から
 - ・朝は実際に人はそんなに動いていない
- 労働者の減少
 - ・建設業界の人手不足
 - ・労働者 (利用者) 数は減少傾向
- 住民の合意
 - ・あいりん総合センターができた当時は簡宿も多くあったので、労働者のまちとして地域住民も納得できた
 - ・地域住民の合意は難しい
- 車の通り道が問題、子供が遊べない
- 利用者数や今後の予測・労働者数の推移
- バブル時代以前の利用にあった機能・規模なので、現機能では利用者が減少傾向
- 労働者の落とす金で西成のまちはできている
- あいりん職安が仕事を紹介していないのはおかしい

【基本の考え方】

- 機能をしっかり考えるべき
 - ・労働福祉センターの構成機能ごとに考える
 - ・機能を考えてからどう建てるかを考えるべき
 - ・「寄り場」と労働福祉センターをわけて考える
- 地域の声を聞く
 - ・これからの計画及びこれからの有りようをしっかりと議論する
 - ・労働政策を担う責任部局 (国、府) も議論に参画すべき
 - ・立ち退きなんか望んでいない
 - ・労働者の意見を代表者が言えるのか、労働者の意見を聞くべき
 - ・様々な立場の人で話し合いを行っていても、労働者側では議論ができていない
 - ・労働に関しての話し合いが不十分である
 - ・センターの上部を移動している間に下部の話をするべき
 - ・利用している事業所の声も反映すべき
 - ・「住民の総意」じゃないなら強制移転はだめ
- 柔軟に変化 (対応) ができる施設
 - ・暫定的・段階的な利用もできないか
 - ・社会変化を受け止める計画が必要
 - ・多くの主体を巻き込んだものにしたい
 - ・地域との諸施策とどのように関係し位置づけてしていくか、野宿者問題はどうか
- 居場所としての機能
 - ・地域住民、日雇労働者、野宿生活者、サポートハウス入居者などの居場所としての機能の再確認
- 情報の提供・説明
 - ・移転と改修のメリット・デメリットを表示してほしい
 - ・何年先までに出ないといけないのか知りたい
 - ・耐用年数に関する数値をだして欲しい。専門家の意見も
 - ・センターをどういう意図で建てられたのか説明してほしい
- 計画の担保
 - ・次のプランが実現する担保がない
 - ・5 年後建て替えが本当にできるのか
- スケジュール
 - ・労働センターは当分動かないのでは
 - ・職安の解決に至るまで 10 年かかるのでは
 - ・現実味ある時間的計画が必要
- 労働福祉センターが教育に悪いとは思わない
- 耐震が不安とは、脅かしになっていないか?
- どれだけのスペースを使えるのか把握できていないので考えにくい

■これからの機能 (労働福祉センター / 職安)

- 居場所
 - ・寄り場の維持 (都市の発展には寄り場は必要)
 - ・居場所を多く点在させるべきである
 - ・労働者の居場所づくり
- 職業紹介
 - ・市は府、国に働きかけて雇用の創出と確保を
 - ・市は「あいりん職安」に仕事を出すよう働きかけて
 - ・紹介業務の継続
- 多くの人たちを受け入れられるし施設に
 - ・若い人の居場所づくり
 - ・若者の就労支援 (若手と仕事のマッチング)
 - ・障がい者などの受入
 - ・労働者の機能は必要 (利用者が減る)
 - ・雇用チャンスを与えられる技術講習などの施設
 - ・自立支援機能
 - ・朝だけの活用ではなく、多様な人が利用できるように
- 仕事や技能の充実
 - ・建物だけでなく仕事が集まる場
 - ・労働者を育てる (技能育成)
 - ・人材流入・生産性を上げる機能を
 - ・生活・労働・技能訓練の複合した施設に
 - ・仕事さえあれば野宿者、生活保障は減る
 - ・労働者を生活と労働、縦割りにしないでトータル的にサポートできる労働施設に
- 新しい機能
 - ・防災拠点
 - ・まちづくりとして新しい機能を加えていくべき
 - ・併設で野菜工場を作ってほしい。高齢者でもできる軽い仕事を中心に
 - ・新たな「働く人」を呼び込むべく、広場機能+ (大小ビジネス) オフィス機能を
- 手配師を一扫できる寄り場に
- 規模を議論しないと機能について議論できない
- 建物だけではなく他の社会問題や要求にも対応すべきである

■現状・全体意見（駅前）

【現状】

- 利用者
 - ・天下茶屋で1日6.7万人の通行量
 - ・通勤がもっているポテンシャルを活かすべき
 - ・乗り継ぎは多いが、乗り降りには少ない
 - ・新今宮西口を使う人はほとんどいない
 - ・西口の乗降者は海外の旅行者のみ
- 夜あいている店がない
- 道路上の露店は迷惑。人気なのは違法なものばかり。露店もかつては人気があった

【基本の考え方】

- 鉄道会社との連携
 - ・JRと南海も巻き込まないと
 - ・南海とJRに資本を出してもらおう
 - ・“駅前活性化”といった場合、事業者はだれ？
 - ・南海、地下鉄を移動する人々にとってセンターはどう映ってるのか？ネガティブなイメージを与えてしまう
 - ・JRは広く開放すべき。西口だけではもったいなく、角地など更に有効活用すべき
- まちのポテンシャル
 - ・交通の要所をうまく使いたい
 - ・「新しい人」のポテンシャルはあるのでは
 - ・センターは、いい場所なのにもったいない
 - ・今、外国人旅行者多い
 - ・観光客を引き寄せられないか
 - ・駅を誰のために使うかも議論が必要
- 商業化への疑問
 - ・商業を入れるのは本当に必要か、まず外から人を寄せる必要があるのでは？
 - ・ここの人にとっては商業施設は今のままで十分ではない？
 - ・阿倍野が既にあるから大規模開発は無理
 - ・普通の商業、施設ではなく何かに特化するべき
 - ・文化的なもので人を呼べないか
- 他区との連携、浪速区の空き地も活用
- だれが開発をするのか。市か民間か
- 排除にならない活性化を
- 国の人もいないと話が進まない
- 遅い時間に帰る人への配慮（人通り少ないから）
- 安心して住めるまちづくり
- 新しい人材が交流するように
- 新世界は観光事業として成功している。西成は観光事業として成功するのか？
- 住民を増やす＝消費力があがる。生産力もあげたい
- 駅周辺の賑わいづくりも必要

■これからの機能（駅前）

- 駅前の賑わい機能
 - ・露店の場所を鉄道下に決めたら賑わうんじゃないか（違法ではないもの）
 - ・一坪店舗も一坪貸畑もいいのでは？
 - ・空き地は畑に
- センターの賑わい機能
 - ・1Fは駅前商店街として発展させたい
 - ・屋台街エリアをつくっては
 - ・バザールとか面白いのでは
 - ・露店の場所もしっかり確保
 - ・地域の特性を生かす商店（使われ方を考えることが重要）
- 回遊性、利用者増へ
 - ・商業的回遊路を確立する
 - ・もっと消費者を呼び込まなければ商業化
 - ・新しい商業施設は新しい人が来ないと成り立たない
- 若者が集まるまちに
 - ・若い人がLIVEしたりとかできる空間や広場など
 - ・裏難波の感じの場所（裏難波の延長）
- 銀行、郵便局が必要
- 商業施設だけではなく文化的なものを
 - ・文化教室、貸しオフィス、劇場
 - ・立地を活かしフィスを誘致したい

■必要な規模 (労働福祉センター / 職安)

- 適切な検討が必要
 - ・縮小前提の議論は疑問
 - ・利用状況から縮小してもよいのでは
 - ・スペースは縮小しない
- 新しい機能が入る適正規模、将来のニーズ変化への対応
- 駐車場の確保、地下駐車場
- 利用状況を考えて、機能・規模を考える (朝早い時間から利用、車が一時期に集まる)
- 駐車場も含めると労働福祉センターは規模拡大
- 役所や職安が本来の仕事をしたら規模はもっと必要なのは

■更新方法・立地

【更新方法】

- 建て替え
 - ・国・府・市に対して現地での建て替えを要望してほしい
 - ・使い勝手が悪くなるのでは、建て替えを (筋交いだらけ)
 - ・15年しかもたないのなら建て替えを
 - ・全体的に作り替えるほうが良いのではないか (70年建物が経過している)
 - ・現地建替えの時どこに行けばいいのか
- 耐震補強
 - ・危険なら早く補強工事すればよいのでは
 - ・医療センターと住宅を移動したら、簡単な耐震工事で労働センターを長持ちさせることができるのでは?
- 利便性の向上
 - ・下階は商店として使う提案
 - ・南海を1フロアあげてJRとフラットに
 - ・センターも高層化で繋ぐ
 - ・JRにエレベーターを
 - ・大阪市：歩道広げて
 - ・南海、JRを陸橋で繋ぐ (フラット化)、かつセンターにもつなく
 - ・駐車場を設ける、階段に対してエレベーターの設置をJRなどに求める
- JR西口、電車での利用者には“地域の顔”もっと活かしたい今のセンター機能は南下しては?
- 駅前も含めて周辺エリアまとめて開発すべき

【どこに更新するか?】

- 他の施設と別に考えていい
- 今の場所
 - ・労働福祉センターだけ今の場所に残す
 - ・駅前の利便性等を考えると、今の場所に必要か?
 - ・土地については現在地で一致している
 - ・南側に圧縮して北側に駅前としてのスペースをつくるのはどうか
 - ・車の事を考え大きい道路に面していたほうが良い
- 移転
 - ・移転先の周辺環境にも影響がある
 - ・具体的な候補地の掲示が必要
 - ・移転はしないで
 - ・三角公園の問題解決に向け配置は?
 - ・三角公園に労働センターは立地としてふさわしくない
 - ・第2住宅が空いたところに、労働センター機能がよい
- 立地条件
 - ・駅、学校などとの関係を考慮
 - ・車を考えると国道沿いがよい
 - ・車に頼りすぎ。歩いて行ったほうが良いのでは
- 駅前
 - ・センターは駅前に必要か? 駅前の賑わい
 - ・新今宮の顔
 - ・労働福祉センターの交通アクセスを重視するなら、駅前活用を南にするしかない